



地域の活性化やスポーツ、文化の振興に貢献した個人・団体を顕彰する「日本海新聞ふるさと大賞2024」(日本海新聞ふるさと創り事業団主催、鳥取県内各市町村、新日本海新聞社、日本海新聞販売店会共催)の受賞者が決まり、県内各市町村で表彰式が行われている。ふるさと大賞は、町おこしに尽力する個人や団体に贈られる「地域貢献賞」と、昨年1年間に優れた成績を残した個人・団体に贈られる「スポーツ文化功労賞」の2部門がある。今回受賞した県西部地域の15団体、個人13人を紹介する。

県西部地区 受賞15団体13人 地域けん引

米子市

よなごまちプロジェクト実行委員会
(岡宏由紀代表、5人)



プロジェクトメンバーや学生ら地域在住のアマチュアジャズプレイヤーによるライブ及びセッションを、米子市中心市街地で連続的・継続的に展開している。地域イベントなどに参加することで、地域の音楽振興とまちの活性化の力になることを目指している。

福生東地区青少年育成会 (本田卓巳会長、22人)



年間を通して行っている青少年育成会行事で、子どもから高齢者までの地域住民の繋がりを深めている。また、中学生ボランティアの募集も行い、地域の活性化を図っている。

地域貢献賞

岡本おさみさんを語る会
(長谷川泰二会長、50人)



米子市出身の作詞家、岡本おさみさんの功績を後世に受け継ぐとともに、地域文化・創造活動の活性化を目的として2023年4月に発足した。24年11月末に、米子市公会堂前庭に「岡本おさみ音楽記念碑」を建立。23年と24年にはフォークソングライブを開催、音楽文化を通じた街のにぎわい創出にも力を尽くしている。

大篠津地区自治連合会 (岡田隆会長、564世帯)



安心・安全な地域づくりを目指して活動。自治会や民生委員、子ども会などと協力して「見守りマップ」も作った。

スポーツ文化功労賞

米子高専3年 常松世名さん(18)



第58回全国高専体育大会の卓球競技で、女子団体3連覇を果たした米子高専の中心選手。自身も、女子シングルスで優勝し、団体と合わせて2冠を達成。女子ダブルスでも2位の好成績を収めた。

米子北斗高2年 糸原心温さん(17)



第36回全国高校生銃剣道大会の個人戦女子の部で優勝。準優勝に終わった昨年の雪辱を果たし、小中高全てのカテゴリーでの全国制覇を実現した。

井上流生さん(28) =米子市新開=



第35回日本パラ陸上競技選手権大会の男子F32こん棒投げで日本記録を更新する20秒44で優勝。男子F32砲丸投げでも優勝した。2024ジャパンパラ陸上競技大会では、男子F32砲丸投げで優勝、男子F32こん棒投げでは、大会新記録の18秒50をマークして優勝した。

境港市

地域貢献賞

境港サーフレスキューチーム (三代武士代表、30人)



境港市の水辺における安全を確保するため、遊泳者の多い週末の日中に、「監視・救助活動」と海岸の清掃活動を実施している。また、市内小学校で、ライフジャケット着用教室を開催。地元住民の水辺に対する安全意識を高めるとともに、地元の海に親しむ意識を育むことに貢献している。

さかいみなと図書館応援団 (渡辺博美代表、約270人)



境港市在住者を中心に小学生から大人までの幅広い年齢で構成。花の手入れや図書館主催のイベントへの協力、市民へのおすすめ本の展示などの活動をしている。また、会員以外にも広く呼びかけ、月1回読書会、講演会、工作教室などを開催。読書まつりや市の福祉イベントにも協力し、地域の読書環境の充実に努めている。

茶道裏千家淡交会 境港学校茶道連絡協議会 (西尾順子代表、11人)



2000年ごろから茶道裏千家淡交会の会員で、境港市内の幼稚園、小学校3校、高校1校でクラブ活動としてお茶教室を開いている。1年に1回は活動の発表の場として七夕茶会を開催し、お客様をもてなしている。

スポーツ文化功労賞

米子高東2年 船沢奈菜さん(17)



第78回国民スポーツ大会セーリング競技の少年女子ILCA6級で優勝。鳥取県の世界に羽ばたく鳥取ジュニアアスリート発掘事業で選出され、高校入学を機にボート競技からセーリング競技へ転向。東京オリンピック出場の出場権を手にし、めきめきと上達した。

阿部夏奈さん(18) 米子西高3年
横山陽奈子さん(18) 米子西高3年
境港市を練習拠点に活動。第78回国民スポーツ大会のビーチバレーボール競技少年女子で3位に入賞するなど活躍した。

大山町

地域貢献賞

中山国際交流協会 (平福孝会長、73人)



1995年設立。長きにわたり大山町と米国テキサス州の姉妹都市交流に携わってきた。2024年は姉妹都市締結30周年で、数々の記念事業に取り組み、相互訪問も行って、これまで培ってきた友情と、末永い交流の意思を確認し合った。国際感覚豊かな町民の育成に尽力し、人と人とが心でつながる交流と、その先にある平和の実現を理念に活動している。

大山の里 所子(角田直史会長、2654人)



所子地区の住民で構成される地域自主組織。住民主体で少子高齢化が原因となって起こる課題解決のための事業を実施している。主な事業は、防災講習会や海岸清掃など。また、各種イベントやマルシェを開催し交流を促している。平日夕方の拠点開放は、子どもたちや住民の憩いの場となり、安心安全な地域づくりに寄与している。

スポーツ文化功労賞

門脇京吾さん(68) 大山町



「ねんりんピック はばたけ鳥取2024」剣道交流大会に、鳥取県Aチームの副将として出場。予選リーグ、決勝トーナメントともに全勝。準決勝では、決勝進出のかる試合に勝利し、決勝では、優勝をかけた大一番を制し、鳥取県チームを初の全国優勝に導いた。また、青少年の健全育成や後進指導者の育成にも尽力している。

名和小6年 中村麗咲さん(12)



第62回鳥取県学童水泳選手権大会の100m自由形で1位。50mバタフライでも1位。第45回鳥取県室内選手権水泳競技大会の100m自由形で1位。50m自由形で1位。いずれも大会新記録をマークした。

伯耆町

スポーツ文化功労賞

地域貢献賞

伯耆町障がい老人をささえる家族の会 (大森紀子代表、47人)



「地域で暮らしたい」家族を在宅で介護したい。そんな思いで、2003年7月に設立。介護家族の集いを月に1回、研修会を年1回開催し、家族や仲間のネットワークを広げている。また、研修会や公民館祭りなどを通じて啓発活動も展開し、地域福祉の向上に貢献している。

秋田楓さん(14) 岸本中2年
第4回全国中学生ビーチバレーボール選手権大会鳥取県予選会で優勝。HEKINANマンモスカップ第4回日本ビーチバレーボール大会中学選手権大会で3位に入賞するなど優秀な成績を収めた。

南部町

地域貢献賞

中野久志さん(52) 南部町福成



南部町の中学校女子ソフトボール部を20年以上にわたって指導。合同チームの県中学校総合体育大会4連覇に大きく貢献した。また、地域のスポーツ振興にも、長年にわたって尽力している。

スポーツ文化功労賞

西伯小金管バンド (安達嘉也校長、27人)



マーチングバンド中国大会で金賞を受賞。同全日本大会では銀賞を受賞するなど輝かしい成績を収めた。また、地域や学校間の文化交流・振興にも大きく貢献した。

日南町

地域貢献賞

スポーツ文化功労賞

倉吉総合産業高校3年 小竹颯人さん(18)



第59回鳥取県高校総合体育大会で男子ハンマー投げと砲丸投げで2冠に輝いた。中国総体ではハンマー投げで優勝。円盤投げでも3位入賞し、2種目で全国総体への出場権を獲得した。その全国総体ではハンマー投げで8位入賞。佐賀国民スポーツ大会にも少年A男子ハンマー投げに出場し、6位入賞した。



霞愉楽会(佐藤由美代表、21人)
1997年に地元有志を中心に結成。町内外での多くのイベントに参加し、地域で昔から親しまれてきた銭太鼓の演奏披露をしている。メンバーは幅広く、子どもから町内に住む外国人も参加しており、さまざまな世代や人種、文化の交流が生まれるコミュニティになっている。

江府町

地域貢献賞

江美城を探る会(川上淑子会長、24人)



江尾の町内にある「江美城」の歴史や遺跡について楽しみながら学び、町内外や若者に広めたいことを目的として活動をしている。現在は、江美城跡の案内やガイド養成、整備に力を入れており、地域文化の振興に貢献している。

スポーツ文化功労賞

奥大山江府学園6年 大谷弥寿さん(12)



日野ユニテッドスターズ(日野郡)に所属し、中心メンバーとして活躍、西日本学童軟式野球大会に出場した。また、約300人が応募した阪神タイガースジュニアチームの選抜を見事に通過し、16人のメンバー入りを果たした。

日野町

地域貢献賞

セルプひの(梅林日登美施設長、35人)
2005年4月に開設以来、長年にわたり障害のある人の生活支援・就労支援に尽力してきた。また、事業所の販売活動を通して町のPRや、積極的に地域の行事などにも参加し、障害者への理解促進にも貢献した。



スポーツ文化功労賞

日野学園9年 岡本匠生さん(15)



第70回全日本中学通信陸上競技鳥取県大会男子走り高跳びで優勝。第50回鳥取県中学校総合体育大会陸上競技の部でも入賞するなど、目覚ましい活躍を見せた。

日吉津村

地域貢献賞

はやし 囃子隊ひえづのわ (加納尚樹代表、8人)



2021年4月に結成された和太鼓グループ。子どもから大人まで幅広い年齢層で活動しており、村の盆踊り花火大会や音楽祭などさまざまなイベントに参加し、村の盛り上げに貢献している。また、村外でのイベントにも参加し、村のPRにも一役買って、今後もさらなる活躍が期待されている。